

なす からすやま

No.175

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 令和2年度の主な事業と予算	2
第2回市議会定例会	6
新型コロナウイルス感染症	8
七合保育園が閉園	10
市職員の人事異動	11
スポーツ推進委員に感謝状	12
インフォメーション	14
卒業式・卒園式	16

2020

4

April

春うらら

(4月3日清水川せせらぎ公園)

子育てと防災・減災に力を注ぎ 市民と共に未来を描くため

令和2年度の那須烏山市一般会計と6つの特別会計、企業会計の予算がまとまりました。

本市は、介護保険や後期高齢者医療など高齢者福祉に関する給付費の増加のほか、老朽化が著しい公共施設の長寿命化や再編・統廃合、台風19号を教訓とした防災・減災対策の強化など、財政負担の増加が見込まれます。

このような中で、令和2年度事業は、第2次総合計画に基づき、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」や「烏山城跡」、「龍門の滝」、「JR烏山線」といった地域資源を最大限活用し、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のスタートの年として、着実な成果を目指してまいります。

また、中長期財政計画に基づく収支見通し、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の統廃合などを見据え、「選択と集中」の考え方で、当初予算を編成しました。

今月号では、これから1年間、市ではどのような事業に取り組み、予算はどのように使われているのかを紹介します。

20年度予算の特徴

■安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

【結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実】

新規事業として「つくし幼稚園」と浸水想定区域内に設置されている「こここ保育園」を統合し、新たに認定こども園を整備する「認定こども園施設整備事業」や全新生児対象の聴覚検査実施に係る費用について支援する「新生児聴覚検査助成事業」に取り組みます。また、民間小規模保育事業所の整



未来を担う子どもたちのために（烏山中卒業式より）

備に対する支援を行う「保育所等施設整備支援事業」や産後2週間健診および出産後早期から心身の状態を確認する「妊産婦健康診査・産後支援事業」を拡充します。そのほか、「特別保育事業」などを継続して取り組みます。

【健康・保健・医療の充実】新規事業として重症ロタウイルス胃腸炎予防のためワクチン接種を助成する「ロタウイルスワクチン接種費用助成事業」や20歳を対象としたピロリ菌検査を実施する

「感染症予防事業」に取り組みます。【障がい者・高齢者の福祉の充実】新規

事業として通院が必要な寝たきりなどの高齢者の自宅と病院間の送迎に係る運賃額を支援する「通院支援事業」に取り組みます。

【学校教育の充実】新規事業として新学習指導要領全面実施に伴い教員用指導書やデジタル教科書を導入する「新学習指導要領対応デジタル教科書等導入事業」のほか、宇都宮大学生を講師として各中学校の部活動および英語学習をサポートするための「中学生部活動・学習サポート事業」に取り組みます。

【生涯学習の充実】新規事業として「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」を開催する「東京2020オリンピック・パラリンピック事業」に取り組みます。また、令和4年度の第77回国民体育大会において、本市がアーチェリー競技会場となることから「国体開催運営事業」を拡充し、本番に向けた準備と競技の普及促進に取り組みます。

【文化の振興】烏山城跡の国指定史跡化を目指すための「文化財調査事業」、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」や山あげ道具類保存修理を支援

令和2年度の主な重点事業（〇は新規事業）

■安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

○認定こども園施設整備事業	550万円
○新生児聴覚検査助成事業	64万円
○ロタウイルスワクチン接種費用助成事業	339万円
○感染症予防事業（ピロリ菌検査）	33万9千円
・保育所等施設整備支援事業	1億910万2千円

■夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり

○中学生部活動・学習サポート事業	106万9千円
○新学習指導要領対応デジタル教科書等導入事業	1909万3千円
○東京オリンピック・パラリンピック事業	32万8千円
・英語教育推進事業	100万円
・ユネスコ無形文化遺産保存事業	712万8千円

■地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり

○防災重点ため池ハザードマップ作成事業	3305万5千円
○なすからブランド認証品PR事業	27万円
○特殊詐欺撃退機器設置補助事業	20万円
・観光協会支援事業	1500万円
・ユネスコ無形文化遺産活用推進事業	492万4千円

■定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

○国土強靱化地域計画策定事業	280万円
○南那須地区サイレン吹鳴システム構築事業	526万円
・防災行政情報通信整備事業	6600万円
・地域公共交通網形成計画策定事業	300万円
・JR烏山線利用促進事業	64万6千円

■市民と共に築く持続可能なまちづくり

○荒川体育館解体事業	4440万円
○ホームページリニューアル事業	350万円
○関係人口創出事業	41万5千円
・シティプロモーション事業	231万1千円
・都市農村交流事業	100万9千円

する「ユネスコ無形文化遺産保存事業」を継続して取り組みます。

■**地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり**

【**雇用の確保**】地域おこし協力隊員を2名任用するための「地域おこし協力隊事業」や合同就職説明会・面接会などで地域企業への就労を促進する「雇用対策事業」に継続して取り組みます。

【**農林水産業の振興**】新規事業として安心安心な農業施設環境の充実を図る「防災重点ため池ハザードマップ作成事業」や林業経営の適正化などを図るための「森林経営管理制度事業」に取

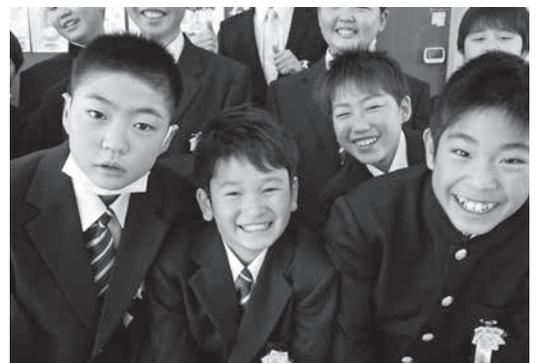
り組みます。また、なすからブランドの農林水産物認証品を活用した商品開発などを支援する「なすからブランド6次産業化推進事業」に継続して取り組みます。

【**商工業の振興**】新規事業として「なすからブランド認証品PR事業」や不審電話・迷惑電話などを防止するための特殊詐欺撃退機器購入を助成する「特殊詐欺撃退機器設置補助事業」に取り組みます。また、「創業者支援補助事業」や「空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業」を継続し、地域経済および商業の活性化を図ります。

【**観光の振興**】観光協会支援事業」を拡充し、観光協会のコンサルティングなど観光の活性化と誘客促進を図ります。また、GPS機能を活用した「山あげ祭まるわかり情報提供システム」の運用など「ユネスコ無形文化遺産活用推進事業」に継続して取り組みます。

■**定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり**

【**住環境の充実**】東京圏から移住する人を支援する「地方創生移住支援金事業」のほか、烏山駅発車予告メロディ、職員のJR烏山線利用促進、「烏山線の日」の制定検討など「JR烏山線利用促進事業」に継続して取り組みます。



（江川小卒業式より）

【**消防・交通・防犯対策の推進**】新規事業として防災・減災などのため「国土強靱化地域計画策定事業」や「南那須地区サイレン吹鳴システム構築事業」に取り組みます。また、避難所などの備蓄品拡充や自主防災組織活動の活性化を図る「災害対策事業」や防災Inf

oなすからすやまの運用推進を進める「防災行政情報通信整備事業」に継続して取り組みます。

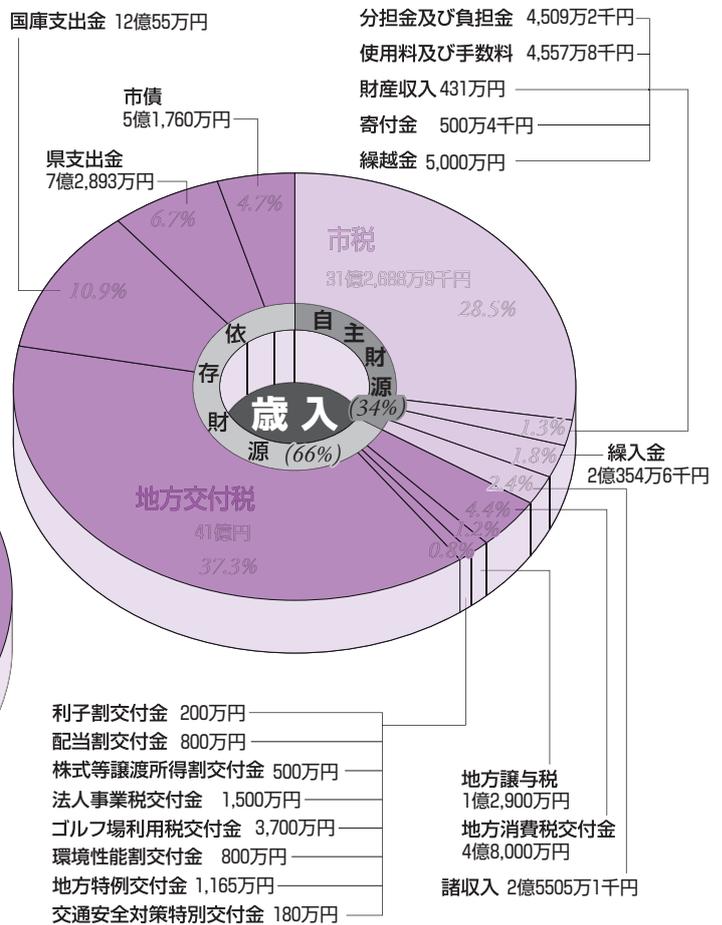
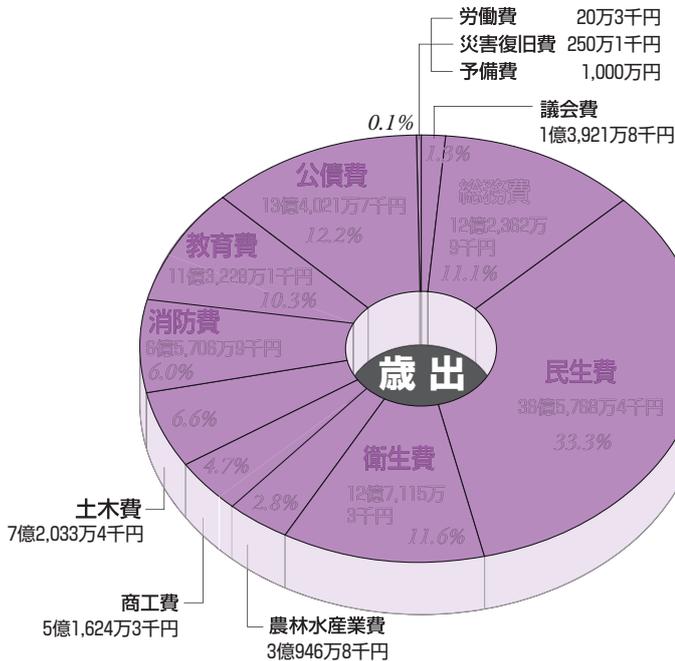
■**市民と共に築く持続可能なまちづくり**

【**市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくりの推進**】新規事業として市の情報提供とPRのための「ホームページリニューアル事業」や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の新たな視点「関係人口」の創出のため「関係人口創出事業」に取り組みます。



一般会計

2年度 109億8,000万円
前年度 109億4,000万円
差引 4,000万円



一般会計当初予算は 109億8千万円

「行財政改革の推進」公共施設等総合管理計画に基づき荒川体育館や旧市民ふれあい農園管理棟の解体事業に取り組みとともに、「学校施設等長寿命化計画策定事業」や「公共施設等マネジメント推進事業」を継続します。

一般会計当初予算は、第2次総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき各種施策に取り組みため、前年度予算に比べて、4,000万円(0.4%)増の109億8,000万円としました。

【歳入】主なものとして、市税は、前年度比154.0万円(0.5%)増の総額31億2,688万9千円としました。地方交付税は、合併算定替の縮減が5年目となるものの元年度実績を踏まえ、前年度同額の41億円としました。このうち普通交付税は36億円、特別交付税は5億円です。国庫支出金は、民間小規模保育事業所整備に対する保育所等整備費交付金や幼児教育・保育無償化に伴う子どものための教育・保育給付交付金の増額により前年度比1億3,581万7千円(12.8%)増の12億5,555万5千円としました。県支出金は、防災重点ため池のハザードマップ作成に伴う震災対策農業水利施設整備事業費補助金の増額により前年度比4,358万4千円(6.4%)増の7億2,893万3千円としました。

【歳出】主なものとして、議会費は、前年度比83万5千円(0.6%)増の1億3,921万8千円としました。総務費は、基幹システムリプレイスの完了や選挙費の減額などにより前年度比4,977万9千円(3.9%)減の12億2,382万9千円としました。民生費は、民間小規模保育事業所整備に対する補助金や介護保険特別会計繰出金の増額により前年度比1億5,077万7千円(3.0%)増の36億5,768万4千円としました。衛生費は、水道事業会計繰出金や南那須広域行政事務組合斎場費負担金の減額などにより前年度比4,727万2千円(3.6%)減の12億7,115万3千円としました。農林水産業費は、市単独土地改良事業費が増額したものの地籍調査事業費や元気な森づくり推進事業費の減額などにより前年度比1,251万2千円(0.4%)減の3億9,468千円としました。商工費は、企業誘致事業費が増額したものの、龍門ふるさと民芸館運営費の減額などにより前年度比2,444万3千円(2.4%)減の5億1,624万3千円としました。



市民1人・1世帯あたりに使われる予算

○人口 26,104人
○世帯数 10,542戸
(令和2年1月1日現在の住民基本台帳人口)

一般会計 109億8,000万円 42万625円/人 104万1,548円/世帯 	議会費 1億3,921万8千円 5,333円/人 1万3,206円/世帯  議会運営のために	総務費 12億2,362万9千円 4万6,875円/人 11万6,072円/世帯  市のさまざまな総合運営のために	民生費 36億5,768万4千円 14万120円/人 34万6,963円/世帯  市民の福祉のために	衛生費 12億7,115万3千円 4万8,696円/人 12万580円/世帯  健康診断・予防接種、ごみの回収処理のために	農林水産業費 3億946万8千円 1万1,855円/人 2万9,356円/世帯  農業振興、農地保全のために
商工費 5億1,624万3千円 1万9,776円/人 4万8,970円/世帯  商工業の育成・観光事業の推進のために	土木費 7億2,033万4千円 2万7,595円/人 6万8,330円/世帯  市道整備・公園・下水道整備などのために	消防費 6億5,706万9千円 2万5,171円/人 6万2,329円/世帯  消防活動のために	教育費 11億3,228万1千円 4万3,376円/人 10万7,406円/世帯  義務教育・生涯学習の推進・スポーツ振興のために	公債費 13億4,021万7千円 5万1,341円/人 12万7,131円/世帯  市の借入金の返済のために	その他 1,270万4千円 487円/人 1,205円/世帯  労働費(臨時雇用)・予備費など

特別会計

■国民健康保険(事業勘定) 2年度 34億8,025万7千円 前年度 34億4,318万4千円	■介護保険 2年度 27億6,496万3千円 前年度 27億4,826万9千円
■国民健康保険(診療施設勘定) 2年度 4,942万円 前年度 6,552万円	■農業集落排水事業 2年度 6,170万円 前年度 6,010万円
■熊田診療所 2年度 4,760万円 前年度 4,912万6千円	■下水道事業 2年度 3億8,100万円 前年度 3億1,400万円
■後期高齢者医療 2年度 3億6,959万3千円 前年度 3億5,032万1千円	

企業会計

■水道事業 □収益的収入 2年度 6億4,207万円 前年度 6億2,175万3千円 □収益的支出 2年度 5億4,803万円 前年度 5億3,914万5千円 □資本的収入 2年度 2億5,641万3千円 前年度 4,593万8千円 □資本的支出 2年度 6億2,726万円 前年度 3億3,343万1千円
--

5万7千円(0.5%)減の5億1624万3千円としました。土木費は、辺地道路整備事業費や下水道事業特別会計繰入金が増額などにより前年度比9510万3千円(15.2%)増の7億2033万4千円としました。消防費は、南那須地区のサイレン吹鳴システム

構築費が増額したものの、防災情報伝達システム事業費の減額により前年度比4611万3千円(6.6%)減の6億5706万9千円としました。教育費は、教育情報ネットワーク整備事業費が減額したもののデジタル教科書などの購入事業費や荒川体育館解体工事費の増額などにより前年度比1612万1千円(1.4%)増の11億3228万1千円としました。

特別会計・企業会計

特別会計は前年度と比べると、国民健康保険の事業勘定の歳入・歳出は1.1%増の34億8025万7千円、診療施設勘定は24.6%減の4942万円としました。熊田診療所は3.1%減の4760万円、後期高齢者医療は5.5%増の3億6959万3千円、介護保険は0.6%増の27億6496万3千円、農業集落排水事業は2.7%増の6170万円、下水道事業は21.3%増の3億8100万円としました。企業会計の水道事業は、前年度と比べて、収益的収入を3.3%増の6億4207万円、収益的支出を1.6%増の5億4803万円としました。また、投資的経費である資本的収入は458.2%増の2億5641万3千円、資本的支出は88.1%増の6億2726万円としました。資本的収支の大幅な伸びは、昨年の台風19号災害による復旧費の増などによるものです。



予防接種健康被害調査委員会を設置

元年度一般会計予算は134億9188万8千円に

令和2年第2回市議会3月定例会が2月25日(火)から3月11日(水)まで16日間の日程で開かれ、令和2年度当初予算、元年度補正予算、条例の制定および一部改正など32議案が原案どおり可決されました。
一般質問など詳しくは、議会事務局 ☎0287-881-7114 までお問い合わせください。

2年度当初予算

2年度の一般会計と6つの特別会計および企業会計の当初予算が決まりました。詳しくは2〜5ページをご覧ください。

元年度予算は7会計を補正

元年度一般会計は、歳入・歳出をそれぞれ12億779万2千円増額し、補正後の予算総額を134億9188万8千円としました。

歳出の主な内容は、ふるさと応援基金積立金を758万7千円増額し、障がい者介護給付・訓練等給付費を5905万5千円、障がい児支援事業費を620万6千円増額しました。生活保護総務費は事業確定に伴い2923万1千円、生活保護扶助費は実績に基づき2333万2千円増額しました。塵芥収集処理費は、災害廃棄物の処理見込として1億5455万1千円増額、農地・農業用施設対策として、被災農

業者支援型補助金や農作物育成管理施設等撤去作業補助金を新たに計上する

ため農業振興費を7625万4千円増額しました。畜産振興費は、畜産担い手育成総合整備事業費補助金の追加交付や野生動物侵入防護柵整備事業費補助金として3795万2千円を増額し、市単独土地改良事業費は3000万円を新たに計上し、地籍調査事業費は1200万8千円を増額しました。プレミアム付商品券事業費は、実績などを勘案して9940万1千円減額し、龍門ふるさと民芸館施設整備費は、施設リニューアル経費として1億4675万4千円を増額しました。消防水利施設整備費は、消火栓の負担額確定に伴い271万2千円増額しました。教育費は、高速通信ネットワーク環境を全小・中学校に整備する教育情報ネットワーク整備事業費1億1219万6千円を増額しました。台風19号被災に伴

い、農地・農業用施設災害復旧事業費4億8716万円を増額、大桶運動公園などの公共土木災害復旧事業費を2億642万2千円増額、南那須公民館の災害復旧事業費として社会教育施設災害復旧事業費219万3千円増額、レインボーハウスの解体のため市有施設災害復旧事業費を1100万円増額しました。

企業会計の水道事業は、収益的収入を1499万円増額して6億3674万3千円にし、収益的支出を2366万5千円増額して5億9251万4千円としました。また、資本的収入は273万1千円増額して4866万9千円に、資本的支出は102万3千円増額して3億7252万円としました。

1条例を制定し15条例を改正

・非常勤特別職の予防接種健康被害調査委員会を条例で定めるため「予防接種健康被害調査委員会設置及び運営条例」を制定しました。



特別会計は、国民健康保険の事業勘定を3014万5千円増額し、34億7888万9千円とし、診療施設勘定は388万7千円減額し、6163万3千円としました。熊田診療所は152万6千円減額して4760万円に、後

・任命や委嘱などの対象者を「学識経験者、有識者など」とする監査委員や審議会などの附属機関に関する18の条例について、研究者や専門家を充てるときは「学識経験者」と、それ以外を「識見を有する者」とすることを基本に一括して適切な表現に改めました。
・地方自治法の一部改正に伴う条項ズ

レを整理するため「監査委員条例」および「水道事業設置及び経営基本条例」を一部改正しました。

・会計年度任用職員など、職種の多様化に鑑み「職員の服務の宣誓に関する条例」を一部改正しました。

・地方公務員法の一部改正に伴い、非常勤特別職の社会福祉委員を見直すため「非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」を一部改正しました。

・パートタイム会計年度任用職員の報酬額の計算方法などを明確化するため「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」を一部改正しました。
 ・民法の一部改正による法定利率の改正に伴い「債権管理条例」および「市営住宅設置及び管理条例」を一部改正し

ました。

・成年被後見人が印鑑登録をできるよ
うにするなど「印鑑の登録及び証明に
関する条例」を一部改正しました。

・家庭的保育事業者などが保育所など
との間における連携施設を確保する際
の例外規定の追加などに伴い「家庭的
保育事業等の設備及び運営に関する基
準を定める条例」を一部改正しました。

・江川放課後児童クラブを江川第一と
江川第二に分割するため「放課後児童
健全育成事業実施条例」を一部改正し
ました。

・放課後児童支援員の研修修了要件に
係る経過措置を延長するため「放課後
児童健全育成事業の設備及び運営に関
する基準を定める条例」を一部改正し
ました。

・「廃棄物の処理及び清掃に関する条
例」を一部改正し、市が臨時的に回収
する一般廃棄物の処理手数料を改定し
ました。

・「企業の誘致及び立地を促進する条例」
を一部改正し、企業立地奨励金の交付
手続きや交付要件などを改定しました。
・道路構造令の一部改正に伴い自転車
通行帯の基準が規定されたため「市道
の構造の技術的基準及び道路標識の寸

法に関する条例」を一部改正しました。
・道路法施行令の一部改正に伴い占有
料の額などを改定するため「道路占有
料徴収条例」を一部改正しました。

人権擁護委員を推薦

6月30日に任期満了となる人権擁護
委員の滝原一夫氏と鈴木善雄氏を引き
続き候補者として法務大臣に推薦す
ることにしました。

那須烏山市教育委員会会報

元年度『第3四半期』10月～12月

第9回教育委員会(10月25日)

- 就学指定校の変更を承認
- 令和2年度小学校、中学校及び義務教育学校職員定期異動方針を決定
- 第10回教育委員会(11月15日)
- 区域外就学の許可を承認
- 令和元年度那須烏山市一般会計(教育費関係)補正予算(第3号)の専決を承認
- 令和元年度那須烏山市一般会計(教育費関係)補正予算(第4号)を決定

第12回教育委員会(12月20日)

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- ▼その他の出席
 - ・10月5日(土)：南那須中学校学校祭・烏山中学校文化祭
 - ・10月15日(火)：塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会・研修会
 - ・11月6日(水)：栃木県教育委員会連合会総会・研修会
 - ・11月16日(土)：部活動・学習サポート開校式
 - ・11月21日(水)：なすから人権フォーラム
 - ・12月1日(日)：那須烏山マラソン大会
 - ・12月17日(火)：中学生海外派遣事業報告会

烏高生が議場でコンサート

市議会では、市民に親しまれる議会を目指し、2月27日(木)、3月定例会の開会前に「議場コンサート」を開きました。

コンサートには、烏山高校吹奏楽部で3年の和気桃花さん、2年の片岡優羽さん、高橋美吹さん、鈴木日和里さん、1年の齋藤七海さん、佐藤瑞季さん、小山未希さんの7人が出演。市執行部や市議会議員、市民など60人あまりが見守る中、生徒たちは、フルート三重奏で「想い出は銀の笛」を、金管四重奏で「FIVE BAGATELLES」を披露し、議場内に美しいメロデーを響かせました。

演奏をした齋藤さんは、「初めて議場で演奏し、緊張したけれど、練習どおり演奏できたのでよかった」と笑顔を見せました。



議場で演奏をする烏山高生

新型コロナウイルス感染症 市民生活に大きな影響

昨年12月、中国の湖北省武漢市で原因不明のウイルス性肺炎患者の集団発生が報告され、新種として確認された「新型コロナウイルス」は、瞬く間に中国全土に感染が広がり、世界に拡大しました。感染の拡大を受け、WHO（世界保健機関）は、1月30日（木）、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言。2月28日（金）には、このウイルスが世界規模で流行する危険性について最高レベルの評価をし、さらに、3月11日（水）には、パンデミック（世界的大流行相当）との認識を表明しました。

WHOなどの発表によると、新型コロナウイルスの感染者は全世界で84万9876人と80万人を超え（4月1日正午現在）、死者数は4万人以上となっています。このうち半数を超える44万人以上が感染しているヨーロッパでは、スペインでの死者数が中国を上回り、イタリアに次いで世界で2番目に多くなるなど、世界的に感染者の急増に歯止めがかかっていません。

また、医療現場では、マスクなどの医療品の不足が深刻でWHOは、各国に早急な対応を求めています。

国内で感染広がる

国内では1月16日（木）に初めての患者が

報告され、2月1日（土）に指定感染症に指定されました。同日、香港で下船したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の乗客が、新型コロナウイルス陽性であることが確認され、3日（月）、横浜港に入港したクルーズ船の乗員・乗客を検査したところ、感染者が多数判明し、乗員・乗客3711人が14日間の船内隔離となりました。

22日（土）には、感染者が1000人を超え、26日（水）、政府は、大規模なスポーツ、文化

イベントの自粛を要請しました。

27日（木）、政府は、3月2日（月）から春季休業まで、全国の小・中学校、高等学校、特別支援学校の一斉臨時休業を要請し、3月9日（月）には、中国、韓国からの入国者に対し、14日間の待機要請を開始しました。さらに、14日（土）には、新型インフルエンザ特別措置法を改正。内閣総理大臣の緊急事態宣言が可能となりました。

国内の感染者は、3月10日（火）にクルーズ船を除いて500人を超え、21日（土）

は1000人を超えました。4月1日（水）現在の感染者数は2178人の上っています。

小・中学校が休校に

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大を受け、本市でも高等学校は3月2日（月）から、小・中学校は3月3日（火）から春季休業に入るまで臨時休校となりました。休校に伴い、修了式は行われず、卒業式は、来賓や在校生の出席を取りやめるなど大幅に規模を縮小し、消毒やマスクを着用しての挙行となりました。

イベントも延期や中止に

市内では、公民館講座や移動出前サロン、介護予防事業（いきいきサロンやふれあいの里、健康長寿セミナーなど）、各種イベントが延期や中止、休止となり、3月29日（日）に予定されていたオリンピック聖火リレーも延期となりました。

また、市町村や県有施設が休館となり、本市では、3月1日（日）から9日（月）まで市立図書館（10日（火）より一部サービスの利用再開が、3日（火）から5月31日（日）までこども館が、7日（土）から24日（火）まで山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設が休館となりました。なお、イベントなどの再開時期については、現状では未定となっています。

緊急対策資金を創設

市独自の支援策として、新型コロナウイルス



放課後児童クラブが特別開設

小学校の臨時休校を受け、5つの放課後児童クラブが午前7時30分から午後6時30分まで開設されています。

突然の休校により、支援員の不足や集団感染のリスクが懸念されましたが、支援員の協力や感染のリスクによる利用者の減少、こまめな消毒と換気、マスクの着用、毎朝の検温などの対策が行われ、子どもたちは日中、外に出て遊んだり、教室で宿題をしたりして過ごしていました。

また、放課後児童クラブに未登録で、子どもだけで自宅待機となる児童は、各学校での受け入れも行われました。

江川放課後児童クラブの名倉彩美支援員は、「休みが続いてストレスが溜まることを心配していたが、勉強をしたり、外で遊んだり楽しく過ごしてくれている。普段の受け入れと違い時間が長いので、新年度の準備の時間が取れず、間に合っていないのが現状。今後も、ほかの支援員と情報共有しながら協力して運営していく」と話していました。

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種で、発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える人が多いのが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日~12.5日(多くは5日~6日)で、飛沫感染※1と接触感染※2によりうつると言われています。

重篤化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので、注意が必要です。特に、高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患、妊婦などの人は、重篤化しやすいと考えられます。

※1 感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒に放出されたウイルスをほかの人が口や鼻などから吸い込んで感染すること。

※2 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後に周りの物に触れ、ウイルスのついた物をほかの人が触り、その手で口や鼻を触ることで感染すること。

日常生活で気をつけること

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は「手洗い」です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事などにこまめに石けんでの手洗いやアルコール消毒などをしましょう。

咳などの症状がある人は、咳やくしゃみを手で押さえるとその手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介してほかの人にうつす可能性があるため、咳エチケットをしましょう。

また、持病がある人、高齢の人はできるだけ人混みを避けるなど、より一層注意しましょう。

感染症相談窓口

厚生労働省相談窓口 ☎0120-565653
(フリーダイヤル)

栃木県北健康福祉センター
☎0287-22-2679

とちぎ外国人サポートセンター
☎028-627-3399

市健康福祉課 ☎0287-88-7115

ウイルス感染症の影響により売上高などが減少するなど、業績が悪化している市内の中小企業者を対象とした「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」を創設し、資金繰りの支援を行うことで、経営の安定化を図ることとなりました。詳細は、商工観光課(☎0287-83-1115)までお問い合わせください。

そのほか、国・県の各種支援策などについては、その都度、市ホームページなどでお知らせします。

放課後児童クラブに支援の輪

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、小学校が休校となっていることを受け、様々な団体から、市内5つの放課後児童クラブに支援が行われています。

■フードバンク那須烏山

フードバンク那須烏山(小堀恵恵子代表)では、市婦人会の協力も得て3月中旬に手作りのカレーランチを行い、約350食を児童に提供しました。

3月9日(月)には、ボランティアメンバーら6人が荒川放課後児童クラブでカレーを調理。手作りカレーにおかわりが続きました。荒川小3年の糸川康志朗さん満



温かいカレーは子どもたちに大好評

野山は、「学校が休みで、学童の友達にしか会えないのが寂しい。毎日お弁当なので、温かいカレーライスはとても美味しかった」と話

■時々、大家族になろう

3月中旬から4月初旬までの5日間、キッチンカーで調理された「フライドポテト」約300食が贈られました。

提供したのは、地域ボランティアなどの任意団体「時々、大家族になろう」(小松沙梨代表)です。団体は、みんなが集まり互いに助け合おうと3月に設立され、キッチンカーで「移動地域食堂」などの活動をしています。

小松さんは、「急な長期休みで不安を抱えている子どもたちも多と思う。キッチンカーで活動することで、子どもたちに少しでもワクワク感や楽しさを感じてもら



上:キッチンカーで揚げたてのフライドポテトを提供
下:ガバガボ弁当のおかずを頼る子どもたち

■ガバガボ弁当

3月23日(月)~3月末の5日間には、ガバガボ弁当(佐藤茂代表)が、かああげやコロケ、ゼリーなどのおかず約300食を提供し、たく

さんの美味いおかわりに子どもたちの笑顔があふれました。

このほか、様々な企業などから「おにぎり」や「おやつ」が提供されるなど、支援の輪が広がっています。

七合保育園が閉園

46年の歴史に幕

3月24日(火)、七合保育園が閉園を迎え、園児や保護者、関係者などが参加して閉園式が行われました。

七合保育園は、昭和49年4月、鳥山町立大桶小学校の跡地に「七合保育所」として定員60人で開園。以来46年間に渡って地域の子どもたちを保育し、888人の卒園児を送り出



閉園式のさよならコンサートの様子

しました。平成11年4月には時代の要請に応じて乳児保育を開始。同時に延長保育も始めました。17年には、市町村合併により「那須烏山市立七合保育園」になりましたが、通園する園児の減少により28年には4歳児と5歳児が合同クラスとなり、今年3月末をもって閉園しました。

卒園式では、鈴木恵美子園長や川俣純子市長のあいさつの後、岡倉ゆかりさんと花さんによる「さよならコンサート」が行われ、電子ピアノとヴァイオリンの演奏に合わせて、子どもたちが元気いっぱいに歌い、園舎に別れを告げました。

保護者会の大野博康会長は、「自分も通ったので閉園は寂しい。子どもたちには、新しい場所でのびのびと成長してもらいたい」と新たな環境に期待を寄せました。

市消防団が

防災功労者消防庁長官表彰

3月9日(月)、市消防団(渡邊兼一)団長が、「令和元年度防災功労者消防庁長官表彰」を受賞しました。

表彰は、昨年10月に発生した昨年の東日本台風災害において、市民の避難誘導活動や倒木処理、通行の安全確保に適切に従事した功績が認められたもので、県内11の消防団が受賞しま

した。渡邊団長は、「これまでに経験したことのない大きな災害ではあったが、自治会や自主防災組織の協力のもと、団員と一致団結し被害を最小限に抑えることができた。今後も市民の安心・安全を守るための活動を続けていきたい」と話していました。



川俣市長に受賞を報告した渡邊団長

台風災害被災者に義援金を配布

昨年の東日本台風災害の被災者に、市で受けた義援金951万8772円と全国から寄せられた義援金(県第1回配分)2001万2230円を配付しました。

2月19日(木)と20日(金)には、川俣純子市長が被災者宅を訪れ、被災状況に応じて配分された義援金を手渡しました。

床上浸水で大きな被害を受けた松本武さん(下境)は、「みなさんからの温かい支援がとてもありがたい」と話していました。

第2回分以降の義援金も、今後配分されることになっています。



新保育士 佐藤里紗

◆(1)こども保育園

○保育士主幹・園長 榎田美子(すくすく保育園)

○子育て支援センター保育士副主幹 大谷雅代(七合保育園)

○保育士主任 上野悠貴子

○保育士 大谷恵理(すくすく保育園)

◎参事兼学校教育課長 神野久志

○総務教育G課長補佐(総括) 森林浩之(健康福祉課)

○指導支援G係長兼指導主事 鶴田祐介(荒川小学校教諭)

○学校給食G主幹(総括) 大貫信行(税務課)

○主任 丸山美田紀(総務課)

市職員の

人事異動

4月1日付けで、市職員の人事異動がありましたのでお知らせします。
職員数は、2年度新採用による増や再任用職員(専門員・業務員)の確保などにより、246人(ほか短時間勤務2人)となりました。

○昇任、新採用、()内は異動前の課、課内の並びは順不同となります。

■総合政策課

○秘書政策G主幹・総括 高野成彰

○専門員 水沼透

○主任 倉堀奈津木

○主任 小堀真季(生涯学習課)

○主任 川瀬勇輝

○主任 新主事 川瀬勇輝

○まちづくり課長 大谷光幸(総務課)

○定住推進G主幹・総括 井上剛

○環境G課長補佐・総括 平山航太(市民課)

○主査 益子昂大

○専門員 小林貞大

○主任 大橋知歩(総合政策課)

○主任 佐藤諒

○主任 根本浩輔

■総務課

○参事兼総務課長 佐藤博樹(まちづくり課長)

○人事G課長補佐・総括 黒尾明美

○行政G課長補佐・総括 平山聡

○係長 高瀬敦弘

○主査 菊地唯之

○専門員 福田守

○主任 松岡仁美(学校教育課)

○主任 伊藤大道(生涯学習課)

○主任 堀江千穂

○主任 櫻井愛莉

■税務課

○税務課長 高濱裕子(会計管理者兼会計課長)

○収納管理G主幹・総括 齋藤浩文(学校教育課)

○徴収対策G課長補佐(栃木県板根事務所派遣)

星宮二郎

○主任 水井麻衣

○主事 越雲悠琢(上下水道課)

新主事 岡本渉

■市民課

○国保医療G課長補佐・総括 草分知賀子(こども課)

○係長 菊地内(商工観光課)

○係長 各務香織(農政課)

○係長 小堀久美

○専門員 佐藤新一

○主任 郡司和典(まちづくり課)

■健康福祉課

○社会福祉G主幹・総括 菊地静夫(議会事務局)

○健康増進G保健師主幹・総括 星由美子(こども課)

○生活福祉G課長補佐 塩野育雄(学校教育課)

○健康増進G保健師副主幹 仲山直美(市民課)

○主査 國井保人(市民課)

○主任 瀧澤理恵(税務課)

○主任 平山穂那美

○主任 池尻智紀

■こども課

○母子保健G保健師副主幹・総括 大橋弘代(健康福祉課)

○こども館G課長補佐 益子ゆかり(生涯学習課)

○係長 櫻井崇

○係長 藤田善永(健康福祉課)

○保育士専門員 渡辺喜代子(こども保育園)

○主任 齋藤州司

○保健師主任 網野純子

○管理栄養士主任 大久保明喜

新保健師 星あつみ

■すくすく保育園

○保育士主幹・園長 鈴木恵美子(七合保育園)

○保育士係長 深澤桃子(つくし幼稚園)

○保育士主査 阿部孔子(七合保育園)

○保育士主査 神永加奈子(七合保育園)

新保育士 小口明美

○業務員 雫洋子

■つくし幼稚園

○教諭主幹・園長 勝治範子(こども保育園)

○教諭係長 深津幸子(こども保育園)

■農政課

○農業振興G主幹・総括 深澤宏志

○農林整備G主幹・総括 永島一広

○農林整備G課長補佐 篠崎孝光(まちづくり課)

○係長 各務卓馬(総合政策課)

○主査 齋藤奈緒(健康福祉課)

○専門員 糸井美智子

○専門員 岩附利克

■商工観光課

○係長 佐藤美奈子(農政課)

○主任 大橋伴美(農政課)

○主任 田嶋勇介

■都市建設課

○都市建設課長 佐藤光明(上下水道課長)

○管理G主幹・総括 荒井隆郎

○管理G課長補佐 滝口隆行

○都市計画G課長補佐・総括 鈴木康宏

○地籍調査G主幹・総括 倉部健(上下水道課)

○主査 木嶋健太

○専門員 小田倉浩

■上下水道課

○上下水道課長 高田勝

○業務G課長補佐・総括 村山和義(市民課)

○下水道G課長補佐・総括 小原沢直子

○係長 高瀬浩明

○専門員 粕谷一男

○専門員 奥澤隆夫

○主任 樋山雄大

■会計課

○会計管理者兼会計課長 澤村誠一(税務課長)

○専門員 滝田勝幸

■議会事務局

○庶務課長 菅保紀彦(生涯学習課)

○係長 菅保紀彦(生涯学習課)

■学校教育課

○臨床心理士主任 野土谷真弓

○臨床心理士主任 小林香文

■江川小学校

○業務員 菱沼幸弘

○業務員 山田幸夫

■鳥山中学校

○業務員 阿久津光一

■生涯学習課

○公民館G課長補佐・総括 江守浩史(まちづくり課)

○係長 若林香織(健康福祉課)

○係長 黒須由起

○係長 中山崇

○専門員 柳田啓之

○主任 羽石真久

○主任 田中島啓人

○主任 吉川和穂

○主任 吉川和穂

○主任 吉川和穂

○派遺職員

○栃木県総合政策部市町村課 総務課付主任 小堀佑真

○栃木県保健福祉部障害福祉課 健康福祉課付主任 水井健太

○栃木県東土整備部烏山土木事務所 都市建設課付主任 清水晴希

○栃木県後期高齢者医療広域連合 市民課付主任 大塚勇人

■退職職員

○参事兼総務課長 福田守

○参事兼都市建設課長 小田倉浩

○健康福祉課健康増進G保健師主幹 野崎真理子

○総務課保健師 原田美香

○こども課保育士 竹内翔平

○都市建設課専門員 雫友二

○境小学校業務員 笹崎洋子

○市民課専門員 佐藤加代子

○江川小学校主任事務員 菱沼幸弘

○鳥山中学校主任事務員 阿久津光一

○学校教育課指導支援G課長補佐兼指導主事 関奈都子

磯田さんと藤本さんに感謝状 地域のスポーツ推進に尽力

市スポーツ推進委員の磯田トヨ子さん(月次)と藤本澄子さん(旭1丁目)に、(公社)全国スポーツ推進委員連合の「スポーツ推進委員功労者」として、感謝状が贈られました。

磯田さんは旧南那須町で、藤本さんは旧烏山町で、ともに体育指導員(現スポーツ推進委員)となり、平成2年から15期30年にわたって地域スポーツの振興・発展に尽力してきました。

スポーツ推進委員は、市民運動会や駅伝大会、マラソン大会など

各種イベントの運営に協力するほか、市民ハイキングの企画・運営、障がい者余暇活動支援事業への協力などを行っています。

三重県津市で開かれた「第60回全国スポーツ推進委員研究協議会」で感謝状を手渡された磯田さんは、「周りの人の支えがあつてここまで続けてこられた。皆さんに感謝するとともに、自分を褒めたい」と、藤本さんは、「いつの間にか30年が経っていた。これからも磯田さんと二人三脚で活動を続



左から藤本さん、磯田さん

け、地域のスポーツ振興に貢献していきたい」と話していました。

山あげ祭のモザイクアート 烏山中卒業式に華を添える

山あげ祭の巨大なモザイクアートが、烏山中学校の卒業生136人により制作され、3月10日(火)に挙行された同校卒業式の会場に飾られました。

作品は、同校美術担当教諭のサポートのもと、生徒が年明けから美術の授業や学級活動の時間を使って制作したもの。縦4.5m、横6.5mという巨大アートは、1cm四方の折り紙8色を計24万枚使ってコツコツと仕上げられま

した。卒業式の会場に登場した作品は、式典に華を添え、保護者など出席者から絶賛されました。

卒業生の大野陽香さん(天桶)と石澤翠美玲さん(野上)は、「小さな折り紙を張り付ける作業はとても大変だったが、最後にみんなで作った作品を創ることができてよかった。仕上がりが見えない中で制作に取り組んできたので、完成したのを見た時は驚きと感動でいっぱいだった」と話していました。



卒業生136人によって描かれ式典に華を添えたモザイクアート

分類	講座名	分類	講座名
料理講座※	季節の食を楽しもう	文化・教養	なすからサロン
	コーヒー珈琲&お菓子作り講座		ジャズの世界を楽しもう講座
	味噌づくり教室		川柳教室
	くんせい燻製づくり教室	古典文学講座	
	しもつかれ教室	グラウンド・ゴルフ教室	
ものづくり	季節の花を飾ろう	身体ケア※	ゴルフ教室
	楽しむマジック教室	ヨガ・笑いヨガ教室	
	手作りフォトフレーム	自己開発	美開脚講座(女性限定)
	刺し子教室		ハンド&ヘッドマッサージ
家庭生活	旬の野菜づくり教室	郷土理解	アロマ講座
	傷みを可愛く繕うダーニング講座		植物図鑑
	ウチョウラン教室		きのご鑑定教室
特別講座	夏休みやつつけ隊		

※料理講座と身体ケアは、なすから健康マイレージ事業対象事業です。

公民館講座に行こう！

令和2年度の公民館講座がスタートします。

各講座の日程などの詳細は、広報お知らせ版および市ホームページでお知らせします。みなさん、今年は新しいことに挑戦してみませんか？

■問合せ 生涯学習課公民館グループ(烏山公民館) ☎0287-831412



上：小泉さん
下：中澤さん

祝 100歳 小泉さん、中澤さん、小堀さん

小泉ソノさん(谷浅見)が2月19日(木)に、小堀マツエさん(大金)と中澤ハナエさん(若子)は、ともに3月5日(木)に、満100歳の誕生日を迎え、家族や友人などから祝福されました。

これで、市内の100歳以上は、18人になりました。

小泉さんは、最近ではデイサービスに通ったり、ひ孫とテレビを見たりして過ごすことが楽しみだとか。歌を歌うことが好きで、川俣純子市長が訪問した際にも自慢の歌声を披露していました。長寿の秘訣を尋ねると、「好き嫌いせず何でもおいしく食べる」と笑顔を見せました。

小堀さんは、70歳になるまで産婆をしており、1万人あまりの赤ちゃんをとりあげたそうです。また、今でも温かい時期には家庭菜園を楽しんでいるとか。「色々気にせず生きることと、好き嫌いし



小堀さん

ないことが長寿の秘訣」と話していました。

食えることが好きという中澤さんは、特に魚とおやつが大好物だそうです。また、草花を育てることも大好きだったそうです。最近では、弟が会いに来てくれることをとても楽しみにしていると笑顔を見せました。「こんなに盛大にお祝いをしてもらい涙が出る。これからもよく食べて長生きしたい」と話していました。

地域おこし協力隊2期生に坂本さん

地域おこし協力隊2期生として、坂本尚樹さんが、3月から活動を開始しました。

坂本さんは、市田久美子さんの3人を任用し、中心市街地活性化に向けた様々な活動を展開してきました。

地域おこし協力隊は、都市から地方に生活の拠点を移した人を地方公共団体が委嘱する制度。隊員は一定期間地域に移住して、地域ブランド、地場産品の開発・販売、プロモーション・PR活動など「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図ります。

本市では平成28年度から令和元年度までの3年間、地域おこし協力隊1期生として、榎本真紀子さ

ら、協元隊2期生となった坂本さんは、最長3年間、市観光協会や各種観光産業関係の団体などと連携しながら、観光プロモーションや商品開発などに取り組み予定です。坂本隊員は、「本市を訪れたときに素朴な田舎の風景に親近感を覚えた。楽しく活動して市を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。



坂本さん

※坂本さんは、4月から6月までの毎週金曜日、午後6時から30分間、小山市のFMラジオ「おーラジオ」のコーナー(なすかラジオ)で坂本さんが中心となり本市の市民などと一緒に観光PRのため出演します。(おーラジオは、アプリをダウンロードすることで視聴できます。)



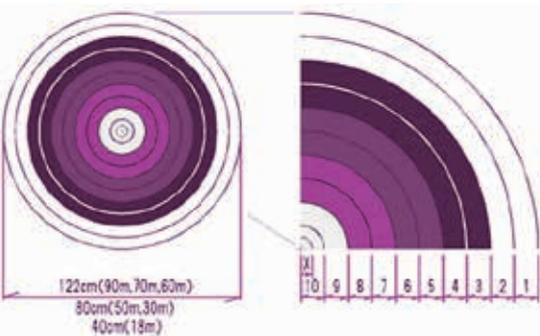
いちご一会とちぎ国体

夢を感動へ。感動を未来へ。

アーチェリーの的を見てみよう！

アーチェリーの的は、ターゲットフェイスと呼ばれ、内側から黄、赤、青、黒、白の5色に分かれています。また、同じ色でも内側と外側の間にラインが引かれ、2つに分かれています。特に黄色の部分は3つに分かれており、これは黄色の中心がXという点になるからです。同点の場合は、よりXに当たった矢が多い方の勝ちとなります。点数は、中心の10点から1点ずつ低くなっていき一番外側の白が1点で、それより外側と的に的中しなかった場合は0点になります。的の大きさは距離によって変わりますが、国体で使用される的は直径122cmで、この的を70m離れた距離から狙います。

競技は、落雷の恐れがある場合以外、雨天時でも的が倒れない限り行われます。そのため天候や風向き、風力を瞬時に考え、矢がより中心に当たるように狙う集中力が必要です。



おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 高瀬 結李斗 (大輔・茉弥) 野上
 高津戸 涼慎 (訓行・千晴) 野上
 青木 椰斗 (魁人・佳純) 滝田
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

ご寄附ありがとうございました★

■ふるさと応援寄附金
 高安徹雄様(茨城県水戸市)から10万円、山田剛久様(神奈川県茅ヶ崎市)様から1万7千円、小越美智子様(東京都品川区、石原豊様(東京都北区)から各1万円、匿名希望者様16人から計35万5千円が寄附されました。

取組がめざっています★

●第7回税に関する絵はがきコンクール
 ▼氏家税務署長賞: 笹岡千紗(江川小6年)
 ▼矢板県税事務所長賞: 大鐘菜里奈(鳥山小6年) ▼銀賞: 小泉柚妃(七合小6年)
 ▼佳作: 大輪莉央奈(境小6年)、吉成晃哉(荒川小6年)



ロータリークラブ・交通安全協会 交通安全グッズで子どもを守る

■鳥山ロータリークラブ

鳥山ロータリークラブ(萩原宣子会長)では、市内5つの小学校に入学する新1年生179人に黄色いランドセルカバーを寄贈しました。



ランドセルカバーを手渡す鳥山ロータリークラブのメンバー(左)

3月10日(火)に中央2丁目の松月庵で行われた贈呈式では、萩原会長が「子どもたちが安全に登下校し、健やかに成長することを願っている」とあいさつ。その後、同クラブの会員が田代和義教育長や各小学校の校長、PTA会長にランドセルカバーを手渡しました。この活動は、42年前から続いており、現在までに1万2852人の子どもたちにランドセルカバーが贈られ、小学生の安全・安心に役立てられています。

■那須鳥山交通安全協会



田代教育長にタスキを贈呈する大野会長と川俣市長

市と那須鳥山交通安全協会(大野正夫会長)では、中学生に登下校時の交通事故から守るため、学校を管理する教育委員会に反射タスキ220本を寄贈しました。

3月17日(火)に市役所南那須庁舎で行われた贈呈式では、大野会長と川俣純子市長が田代和義教育長に「交通事故防止用反射タスキ」を手渡しました。

タスキは、学校を通じて新中学1年生全員に配布されます。大野会長は、「子どもたちがしっかりとタスキを身につけ、交通事故にあわないよう役立ててもらいたい」と話していました。

編集後記



○新年度がスタートしました! さて、お馴染みの人事異動ですが、私Oは4年目、Tさんは5年目に突入です。しかし、広報広聴グループにも動きがあり、Cさんが異動することとなりました。Cさん、写真の撮り方やレイアウトの仕方を教えていただきありがとうございました。一緒に広報を担当する日々はとても楽しかったです。異動してしまうのはすごく寂しいですが、異動先の課でも頑張ってください!

○別れもあれば出会いもあるということで、新たにMさんが広報担当に仲間入りです! これからMさんも取材に出ますので、みなさんよろしくお願います😊

○先日、Mさんが取材デビューしたのですが、カメラのファインダーのぞいて一言「あれ? 見えない...。これOちゃんにしか見えないの?」と。私がMさんのカメラを見てみるとレンズキャップがついたままでした(笑) 私もよくやってしまうんですよ。レンズキャップが付いたままでは、みんな見えません(笑)



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『そのとき、どうする?』 甘中 繁雄
『病気にかかるお金がわかる本』 畠中 雅子
『昭和少年カルチャーDX』 おおこし たかのぶ
『世界から消えゆく場所』 トラビス エルボラフ
『旅ごはん』 小川 糸
『いつでも母と』 山口 恵以子
『発注いただきました!』 朝井 リョウ
『ひこばえ 上・下』 重松 清
『嫁ぐ日』 諸田 玲子

★児童図書★
『海のプラスチックごみ調べ大事典』 保坂 直紀
『エミリーとはてしない国』 ケイト ソーンダズ

『本能寺の変へタイムワープ』 イセケヌ
『りんごだんだん』 小川 忠博
『あくびしてるのーれ?』 穂高 順也
『おおおとことオムライス』 杉本 憲一
『おばけがふくをなくしたら』 シャルル ル プレヴォ
『ちかてつもぐらごう』 大森 裕子

★DVD★
『ねことじいちゃん』 岩合 光昭監督
『キングダム』 佐藤 信介監督
『泣くな赤鬼』 兼重 淳監督
『コッホ先生と僕らの革命』 セバスチャン・グロブラー 監督
『ミス・ペレグリンと奇妙なこどもたち』 ティム・バートン 監督
『アラジン』 ガイ・リッチー 監督
『もっとトムとジェリーショー』 ダレル・ヴァン・チッターズ 監督

2020.3.1現在
()対前月比

人口 24,961(-29)

男 12,427 女 12,534
出生 4 死亡 40
転入 41 転出 34

世帯数 9,310

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー

俳句

寒夕焼狭庭に落つる影淡し

廃家跡栄華を知りぬ紅椿

数百のたんぼ競ふ休耕地

紅梅や園児の声のはつらつと

水野 信一 選

佐藤 亮子(旭)

大森フサオ(宇井)

高野 洋子(興野)

古内 晴代(金井)

川柳

お座りへ痛くて膝の置きどころ

よく晴れた富士のながめは日本一

諍^{いさかい}も水に流している夫婦

お揃いの湯呑仲良く共白髪

篠崎 酔月 選

羽石 妙子(向田)

関 元氣(小埜)

樋山 隆(向田)

川俣登志子(旭)

短歌

滝口 節子 選

寒の朝布団のぬくもり心地よくしばしまどろむ若き日の夢に

スーパ-の清算終えて籠の山お持ちしますと店員やさし

移り来て友と交わる冬の日よつぎつぎに湧く八十路の会話

「パプリカ」を三味線で弾く発表会公民館に子らは集ひて

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

おかげ様で37年!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・火災・等

◇生命保険:新総合収入保障・新医療・等

◆お問合せ ☎321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

足利銀行(南那須)さん後ろ

歩-Ayumi-塾 ☎090-5423-4499(代表者:佐藤 諒)

お母様!コロナ休校での勉強不足が心配ですよね?

その心配おまかせください!

今なら入塾金0円!新1,2年生は初月の授業料0円!

☆無料補講を100時間以上実施☆

☆受験生19人 全員合格☆



①烏山みどり幼稚園、②つくし幼稚園、③七合小、④南那須中、⑤みらいのKaze保育園、⑥⑧七合保育園、⑦烏山中、⑨境小、⑩江川小、⑪ゆうゆうランド那須烏山園



3月に入り、市内の小・中学校や幼稚園・保育園で卒業式・卒園式が行われ、恩師や保護者などに見送られる中、卒業生・卒園児がたくさんの思いが出がまった学び舎を巣立ちました。ここでは、いくつかの卒業式と卒園式の様子を写真で紹介します。

卒業式・卒園式

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、マスクを着用したり、在校生や来賓などの出席を控え規模を縮小したりしての卒業式・卒園式となりました。卒業生・卒園児たちは、友人との別れを惜しみながらも、夢と希望を胸に元氣いっぱい旅立ちました。

3月10日には、2つの中学校で213人(烏山中136人、南那須中77人)、18日(には、5つの小学校189人(江川小34人、荒川小49人、境小8人、烏山小73人、七合小25人)の卒業生に校長先生から卒業証書が手渡されました。また、幼稚園・保育園からも大勢の園児が卒園し、4月からは新小学一年生としてピカピカのランドセルを背負って元氣に登校しています。

